



学校だより No.11
札幌市立稲穂小学校
令和8年1月15日(水)

子どもが「自分で考える、自分で決める時間」を大切にして、成長する一年に

校長

令和8年が幕を開けました。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

丙午の年は「火」のパワーが高まる時期とされ、新しいことにチャレンジするのに相応しいと言われています。

新しいことにチャレンジすると言えば、平和や環境など、人類が直面する課題に具体的な解決策を提示する人物、団体に贈られる「ライト・ライブリフッド賞」があります。もう一つのノーベル賞とも言われています。昨年は、コロナ禍におけるマスク配布システムなどを開発したことで知られている台湾のオードリー・タンさんに贈られました。オードリー・タンさんは、書物や講演で度々「ドラえもん」を取り上げています。

「これからAIがどんどん進化して行って、『AIが人間を超えるのではないか』と危惧される方もいますが、人間とAIの関係は『ドラえもん』を想像すると良いと書かれています。とても優秀なロボット(AI)のドラえもんですが、ドラえもんはのび太にあれこれと命令をするわけではありません。のび太も何もせずにドラえもん任せっきりということはありません。ドラえもんの目的は、のび太を成長させることです。AIは人間が成長していくためのツールとして上手く付き合えば良いと。」(オードリー・タン デジタルとAIの未来を語る)

のび太へのドラえもんの関わり方は、子どもへの関わり方にも当てはまると思います。のび太のお母さんの言葉は「〇〇しなさい」「〇〇してはいけません」と、躰のようですが、のび太の心には響いていないように感じます。一方、ドラえもんは「失敗してもいいよ」「やっごらん」「大丈夫」「きみならできるよ」と励ましています。挑戦する姿を見守り、結果よりも過程に目を向けることは、自己肯定感を育む上でも非常に効果的な関わり方です。のび太は成功や失敗をします。ドラえもんは、成功したとき「のび太君、よかったね」と言って、のび太の気持ちに寄り添います。失敗をしたときには、のび太を非難しません。むしろ、その失敗から何を学べるかを一緒に考えます。さらに、ドラえもんは絶妙なタイミングで関わります。のび太が本当に困っているとき、努力しても解決できない壁にぶつかったときに初めて、適切な道具を出したりアドバイスをしたりします。「待つ」ことは難しいかもしれませんが、「自分で考える、自分で決める時間」を作ることが大切です。道具をどのように使うか、どうしていくかを決めるのはのび太次第ということなのです。

2026年が、稲穂の子どもたちにとって、自分らしい挑戦と確かな成長につながる一年となるように、教職員一同しっかりと支えていきますので、保護者の皆様、地域の皆様にはこれまでと変わらぬご支援とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

2月の行事予定

※1月行事は前号をご参照ください。

3	火	ALT (64)
4	水	ALT (65)
5	木	スキー学習 (5年生)
6	金	避難訓練⑥
9	月	一日入学・入学説明会 (予定)
10	火	ALT (66)
11	水	建国記念の日
12	木	スキー学習 (4年生)
13	金	ゆとりの日⑧
17	火	ALT (67)
18	水	ALT (68)
20	金	冬季特別日課 終了
23	月	天皇誕生日
24	火	ALT (69)
25	水	ALT (70)
27	金	にっこにこありがとうの会 図書貸出最終

スクールカウンセラー来校日

1・2月のスクールカウンセラー来校日は、以下の通りです。ご希望の方は、学校までご連絡ください。日程を調整し、後日連絡いたします。

1月22日(木)、29日(木)

2月 5日(木)、12日(木)、19日(木)、
26日(木) 9:45~12:45

※スクールカウンセラーによる教育相談を受け付けております。ご希望の方は遠慮なく学校までご連絡ください。

雪かきチョボラ・雪あそびチャレンジについて

「雪かきチョボラ・雪遊びチャレンジ」の期間は、2月15日(日)までです。

10回以上おこなった場合は、2月18日(水)までに記録用紙を担任に提出するようお願いいたします。

おしらせとおねがい

【スキー学習について】

各学年ともに、グラウンドでスキー学習を行います。4~6年生は、サッポロティネスキー場でも学習を行う予定です。

◇スキー場での学習について

6年生：1月29日(木)

5年生：2月 5日(木)

4年生：2月12日(木)

※当日はバス発車時刻(8時35分)が少し早くなっています。遅れないようにお願いします。
※日程の詳細、荒天時の対応などにつきましては、各学年だよりでお確かめください。

◇その他(保管場所など)

- ・スキー用具は、学校に保管しておくことができます。スキー・ストックは体育館下物置にあるスキー立てに、スキー靴は各学級・廊下等で保管します。
- ・例年、用具の取り違いが起きます。スキー・ストック・スキー靴・スキーケース等、自分のものがすぐわかるように、**はっきりと記名**(名前を書いた布ガムテープを貼るなど)をお願いします。
- ・用具を運ぶ際には、交通事故などに遭わないために十分注意するよう、ご家庭でもご指導ください。

※ご家庭でスキーを使うために持ち帰る場合は、**月曜日から金曜日の間17時まで**にお願いいたします。(土・日・祝日は無人のため、スキーの持ち帰りはできません。)

◇バス、リフト代について

当日かかったバス代・リフト代につきましては、**3月10日(火)に諸費引き落としの口座より引き落としとなります。**金額などの詳細につきましては、後日、お知らせいたします。

【冬道の交通安全について】

冬季特有の通学路の状態のため、事故に遭わないよう、より注意が必要です。路面の状況は、その日の天候で常に変化しますので、登下校の際には交通安全について、一言、声をかけていただきますようお願いいたします。注意点を以下にまとめました。

- ・登校時刻(8時10分~8時30分) 帰宅時刻(1~3月:午後4時30分)を守る。
- ・転倒時の保護のため、帽子や手袋を身に付け、両手を出して歩く。
- ・信号、横断歩道のところを渡る。
- ・青信号でも、車の停止を確かめてから渡る。
- ・歩道のない所は、道路の右端を1列で歩行する。
- ・ダイナムから高台通りまでの坂道は、登校時は右側、下校時は左側(「きたえるーむ」側の歩道)を歩行する。
- ・下校時、「きたえるーむ」の信号を横断した後の下り坂は左側を歩く。
- ・高台通りは必ず山側を歩く。
- ・道路脇の雪山に登らない
- ・除排雪等の作業車や作業現場には近づかない。

※冬期中、安全確保のため、プール側校門と体育館側校門は閉鎖しています。正面の校門を通して登下校を行います。